

【樹木の部屋】

メラレウカ（フトモモ科メラウレカ属 Melaleuca）

和名：コバノブラシノキ

別名：ティーツリー

英名：Melaleuca、Paperbarks、Honey-myrtles

フトモモ目 常緑低～高木

原産地：オーストラリア

花言葉：清潔、力強い味方

花色：白、桃、紫



← 写真-1 メラレウカ

撮影日：2023年5月28日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 メラレウカの花

撮影日：2023年5月28日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

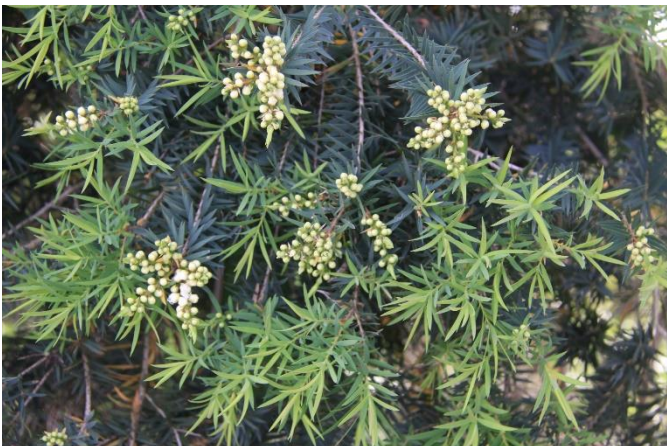


← 写真-3 葉と蕾

撮影日：2023年5月28日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん





← 写真-4 樹肌

撮影日：2023年5月28日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

偶然通りがかった道路脇に咲いていました。ちょうど、満開の時期のようでした。

本稿掲載写真のメラレウカは、スノーインサマーと呼ばれている品種です。

スノーインサマーは、花つきがよく甘い香りが人気だそうです。耐寒性があるため、ガーデニング初心者でも比較的容易に栽培できる品種だそうです。

メラレウカには花が独特の形をしていて葉の色が美しい種や寒さで紅葉する品種、樹高が中低木～高木に生長する品種など、さまざまな品種があるそうです。品種によって違う印象を与えることから、育てる際には選ぶ楽しみも味わえる樹木だそうです。

メラレウカは、短く小さな細長い楕円形の葉を持つのが特徴です。観葉植物として育てられることや、寄せ植えの中心に植えられることもあり、日本でも庭木として近年注目を集めている花木だそうです。園芸種では、メラレウカ属の総称としてティーツリーという名称が使われています。

樹皮が何枚も重なった紙のような質感で、成長するとそれが裂けて剥がれる様子から現地ではペーパーバークという別名でも呼ばれている品種や、園芸種の多いメラレウカ・ブラクテアタなどは硬くて粗い樹皮を持つそうです。

多くの品種が柑橘系の香りを放つのが特徴で、清涼感と清潔感があり、気分のリフレッシュや精神を安定させる効果が期待できるそうです。品種によっても香りが若干異なり、甘い香りをさせる品種もあり、好みの香りを探す楽しさもある植物だそうです。

葉に殺菌力および抗感染力があり、オーストラリアの先住民アボリジニが万能薬として愛用していたといわれています。現在も、葉や茎からエッセンシャルオイルが抽出され、ハーブとして利用されていて、メディカルティーツリーと呼ばれています。

ティーツリーと名前がつく植物はレプトスペルマム属、クンゼア属などにもありますが、現在「ティーツリー」という名前で精油に使われているのはメラレウカ・アルテルニフォリア(メディカルティーツリー)だそうです。

<ちょっと一言>

*メラレウカの別名ティーツリーは、イギリスの海洋探検家のジェームズ・クックがオーストラリア大陸に初めて上陸したときこの葉をお茶として飲んだという逸話や、オーストラリア先住民がこれらの葉をお茶にして飲む様子を見て、名付けられたなどの説があるようです。特に、メラレウカ・アルテルニ

フォリアは、さわやかな柑橘系の香りがする葉をもつことで親しまれている
そうです。